

週報

国際ロータリー第 2660 地区

令和 4 年 6 月 28 日



SERVE TO CHANGE LIVES

2021~22 年度
国際ロータリー会長
Shekhar Mehta

(奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために)

豊中ロータリークラブ

広めよう ロータリーの心 地域とともに

創立 1959 年 6 月 16 日



第 2945 例会

第 2540 号

2021.7~2022.6

会 長 森本博明
副 会 長 北村公一
幹 事 小川佳伸
雑誌・広報・会報委員長
澤木政光

本日 (6 月 28 日) のプログラム

次回 (7 月 5 日) のプログラム

「一年を振り返って」

「新年度運営方針」

副会長：北村公一

幹 事：小川佳伸

会 長：都井正剛

副会長：武枝敏之

幹 事：岩本洋子

★会長の時間★

「創立記念日によせて」

2021-22 年度 副会長 北村公一

豊中ロータリークラブは昭和 34 年 6 月 27 日を創立日としています。昭和 30 年に池田ロータリークラブが設立、その 4 年後の昭和 34 年当クラブが設立されました。昭和 34 年は平成天皇のご成婚の年であり、巨人長島選手が天覧試合でホームランを打った年でもあります。隣接する伊丹空港は昭和 33 年日本に返還された後、「大阪空港」として開港。翌 34 年 7 月には、第 1 種空港「大阪国際空港」に改称しました。ちょうどそのころにわがクラブは創立されました。

私の記憶のなかではちょうどその頃、福岡から日航のプロペラ機で 2 時間かけて伊丹空港に降り立ちました。当時の伊丹空港はフェンスで囲まれバラック建ての空港待合所がありました。

当クラブ 10 年史によりますと第 1 号の月報で初代会長の南氏はクラブを何とか軌道に乗せたいとの決意をのべられ、副会長民秋氏は欧米各国の十数か所のロータリークラブを訪れて例会の在り方を見て回られたと記載されています。

創立から 63 年、諸先輩のご努力により特に教育関係では時代に即したテーマでの教育フォーラム、会員による市内小中学校への出前授業、外国人留学生への奨学金授与、諸外国への留学生派遣、国際関係ではタイやネパールへの奉仕事業等、業績は地区からも高く評価され、伝統あるロータリークラブとして今日に至っています。

IoT 時代の今日、2 年前に始まったコロナ禍はテレワーク、オンライン会議、リモート商談等の働き方変化のほか、教育、通信、運輸等、広範にわたり社会は新しい価値観「ニューノーマル」に置き換わってきています。緊急事態宣言下の居住・移動の自由、営業の自由等の自由の制限は社会生活を大きく妨げ、果ては死生観にまでも影響をおよぼしています。それにくわえて国際情勢も大国による侵攻という国際秩序を逸脱する行為が過去の悪夢を忘れて臆面もなく起こされています。このような社会情勢激変の時代にあって社会のニーズにどのようにサブして行くか、ロータリーも変化を考える時代に立たされています。本日、63 回目の記念日を迎えるにあたり単に過去を振りかえって創立を祝うだけでなく、変わりゆく社会のニーズとロータリーの役割を見詰め直す機会でありたいと思います。

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

事務局・例会場：〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイボリー内

TEL 06-6858-1551 FAX 06-6857-0011

例 会 日 時：毎週火曜日 12 時 30 分より

事 務 局：10 時~16 時(土日祝を除く)

H P アドレス：www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/

メールアドレス：jtrc2660@sun-inet.or.jp

例会出席報告☆

	第2943回	第2940回
例会日	6月14日	5月17日
① 会員数 A	36	36
(内出席免除者)	8	8
② 出席義務者数	28	28
③ 出席義務者出席数	20	19
④ 出席免除者出席数	6	4
⑤ メイクアップ数		2
⑥ 出席義務者欠席数	8	9
出席率 %	76.47%	78.13%

出席率 (2943回) ③+④/②+④ 出席率 (2940回) ③+④+⑤/②+④

○幹事報告○

- ・米山奨学生学友会(関西)より
「米山奨学生学友会(関西)2021-22年度会報誌送付のお知らせ」が届きました
- ・国際ロータリー第2660地区より
「ウクライナ支援報告のお願い」が届きました。

🔗 掲 示 板 🔗

- ・会長・副会長・幹事の卓話「一年を振り返って」
日時：2022年6月28日(火) 本日例会時
場所：ホテルアイボリー
- ・ニコニコクイズ
日時：2022年6月28日(火) 本日例会時
場所：ホテルアイボリー
- ・2022-23年度 会長・副会長・幹事卓話
「新年度運営方針」
日時：2022年7月5日(火) 例会時
場所：ホテルアイボリー
- ・2022-23年度 第1回定例理事会
日時：2022年7月5日(火) 例会終了後
場所：ホテルアイボリー 例会場前

🔗 6月14日の卓話 🔗

「一年を振り返って」

職業奉仕委員会 委員長 眞下 節

本年度は、COVID-19感染症パンデミックにおいて会員めいめいが日々の仕事に精一杯取り組むなかで、職業奉仕の意味と重要性に改めて気づかされることが多くあったのではないかと思います。

本年度の職業奉仕委員会の活動として、まず11月6日に大阪YMCA国際文化センターで開催された地区主催のクラブ職業奉仕委員長会議にWEBで参加いたしました。参加させていただきクラブ職業奉仕についての理解を一層深めることができました。それから1週間もたない11月11日に、本年度の職場見学会と秋の家族会を開催しました。今回の訪問先は、明智光秀ゆかりの丹波福知山城と和久傳の森です。京丹後市で創業して京都で料亭を営む和久傳が創業地に創った和久傳の森と安藤忠雄設計の美術館安野光雅館を見学して、工房レストラン wakuden MORI で美味しいディナーを頂きました。大勢の会員、ご家族、そして奨学生の皆さまにご参加いただいた楽しい職場見学会・秋の家族会でした。

🔒 6月18日のニコニコ箱報告 🔒

- ・祝賀会に参加させていただいて
篠原 厚様
- ・創立記念日おめでとうございます。
Wong Ting Sam
- ・創立記念日おめでとうございます。
木村、豊島、村司、米田、畑田、矢野、
矢口、北村、武枝、眞下、宮田、小川、
田畑、吉川各会員

☆6月受付当番☆

チーフ：松本拓朗会員
6月28日 小寺潤一会員、原 和永会員

◎副幹事・副SAA当番◎

7月副幹事 小川佳伸会員
7月副SAA 米田 眞会員

※7月19日(火)と26日(火)は定款により休会となります。

- ・2022-23年度 四大奉仕委員長の卓話
「新年度運営方針」
日時：2022年7月12日(火) 例会時
場所：ホテルアイボリー
- ・2022-23年度 米山委員長会議
日時：2022年7月23日(土)
14:00~16:00
場所：大阪YMCA国際文化センター2階ホール
- ・2022-23年度 第2回定例理事会
日時：2022年8月2日(火) 例会時
場所：ホテルアイボリー
- ・クラブ職業奉仕委員長会議
日時：2022年8月6日(土)
13:30~15:30
場所：大阪YMCA国際文化センター 2階
大ホール 並びに オンライン



新しい年が明けた1月18日に、職業奉仕フォーラム「職業奉仕月間にちなんで」を企画しました。地区職業奉仕委員会の神寶敏夫副委員長はあいにくご欠席となりましたが、武枝敏之委員に卓話をさせていただいて「人づくりは自分づくりの支援の場」と締めくくっていただきました。さらに、職業奉仕フォーラムで卓話を基調講演としてディスカッションを深めることを予定していましたが、残念なことにCOVID-19感染症の第6波のために中止となってしまいました。

☞6月14日の卓話☞

「一年を振り返って」

社会奉仕委員会 委員長 武枝敏之



毎年行われる「社会を明るくする運動」のティッシュペーパー配りのお手伝いは、本年も中止でした。社会奉仕フォーラムも中止になり、本年もコロナ禍の影響がクラブ奉仕活動にも大きく影響されました。そのような状況においても、子供食堂を支援する活動を継続できたことがよかったことです。岩本年度に、社協を通じてお米1トンの寄付に続き本年も、米1トンとレトルトカレー1000食分を、社会福祉協議会を通じて、市内の子ども食堂及びコロナ禍で困窮する留学生の支援に充てました。これは、青少年奉仕委員会との連携の形で行われました。その実施につきましては、小川幹事のお力添えのたまものです。

地区主催の献血の啓発活動の支援につきましては、2022年2月6日(日曜日)、国際ロータリー第2660地区ロータリーアクトクラブ「地区献血」として、大阪近郊5箇所献血の啓発活動が茨木市のイオンモールで実施され、それに参加しました。

留学生支援につきましては、宮田会員を中心に、奨学金支給以外に、日本での様々な体験を経験していただき、日本の理解を深める助けが出来ているように思われました。今後ともさらに多くの会員が留学生支援に協力いただけるようお願いいたします。

☞6月14日の卓話☞

「一年を振り返って」

国際奉仕委員会 委員長 小寺潤一



昨年度の国際奉仕委員会で(GG2236914)を申請して手続き中の状態です。今年度は前年度から引継ぎの年度となり、承認後の現地調査を行っていく予定です。実施時期は来年春ごろになると思いますが、多くの方のご参加をお願いいたします。

一年間の活動に会員皆様のご協力をお願いいたします。

☞6月14日の卓話☞

「一年を振り返って」

青少年奉仕委員会 委員長 吉川秀樹



昨年度に引き続き、コロナ禍の影響により、畑田会員お世話の教育フォーラム、例会の後の青少年フォーラムが中止となりました。感染症蔓延の中での青少年への奉仕活動の困難さを実感しました。その中で、社会奉仕委員会との連携活動として、昨年度のお米寄贈に続きまして、子供食堂へのレトルトカレー寄贈を行いました。出前授業も制限されましたが、澤木会員には、9月に原田小学校での出前授業をしていただき、児童に大変好評であったと聞いております。ありがとうございました。また、8月28日(土)には、国際ロータリー第2660地区のクラブ青少年奉仕合同委員長会議に参加しました。約80名が参加、3時間のZoomによるリモート開催でした。国際ロータリークラブの青少年奉仕活動が様々に行われていることを知り、勉強になりました。いくつかを紹介させていただきます。ロータリーアクト：ロータリーのパートナーとして、若者たちのリーダーシップ力と奉仕の心を養う18~30歳の若者のクラブです。大学名やクラブ名を付けて活動を行っています。インターアクト：ロータリークラブの指導のもと、若者たちのリーダーシップ力と奉仕の心を養う12~18歳の10代のクラブです。高校名やクラブ名を付けて活動しているようです。ロータリー青少年交換プログラム：会員にホストファミリーバンクへ登録して頂き、青少年の滞在や留学(短期、長期)を行う活動です。国際奉仕委員会との連携活動として、海外の青少年との交流などが行われています。RYLA (Rotary Youth Leadership Awards)

(ロータリー青少年指導者養成プログラム)：今期は、秋のRYLA(9月18日ホスト:摂津RC)、春のRYLA(5月の連休)に開催されました。出席いただきました会員に感謝いたします。最後になりましたが、今年度も、コロナ禍のため、豊中ロータリークラブ奨学生との交流も十分にはできませんでした。次年度は、コロナ感染症が収束し、青少年奉仕活動が、より活発に行うことができますよう祈っております。